

## オミクロン株の第6波で小児科は多忙になるか？

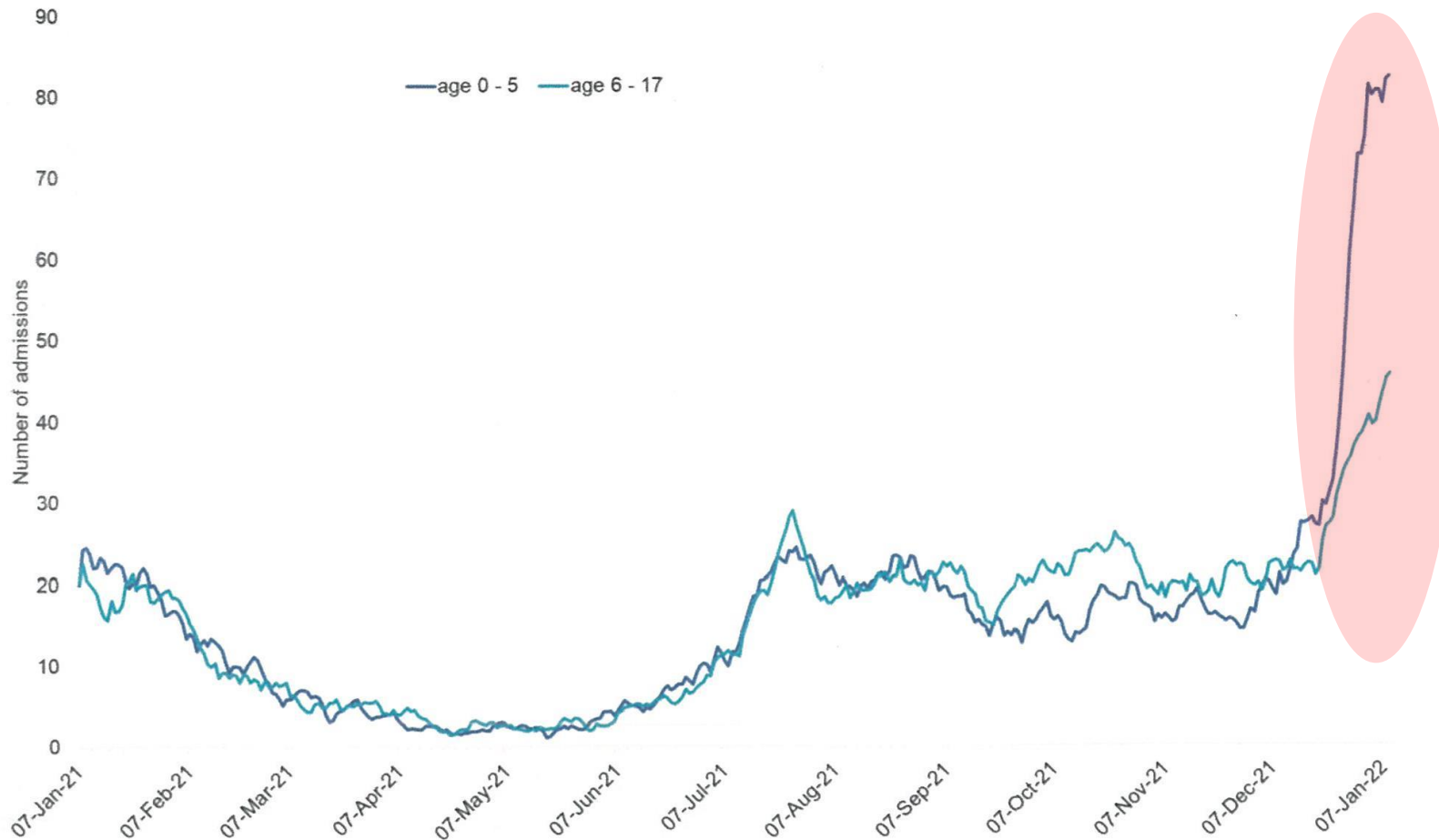


スイスの孫たち。本年4月に訪日予定、先の第131報のパンデミック終焉の予測は、彼等との再会を期待しての私情にもよります。

英国 UK HSA (Health Security Agency)、米国 CDC から矢継ぎ早に、昨年暮れから本年初頭にかけて、COVID-19(Omicron Variant)流行に伴い、小児、特に乳幼児の入院数が約3倍に増加していると報告されています。そこで急遽、時期尚早とは思いましたが、愛知県の第6波(オミクロン株)\*について小児(10歳未満)感染例を中心に検討を加えてみました。

\* 愛知県の第6波はGrowth Rateがプラスに転じた2021/12/28に流行開始、感染例は全てオミクロン株と仮定、検討は2022/1/16までの8,569例(10歳未満は603例)について行いました。

Figure 9. Rolling 7-day average number of children and young people admitted to hospital with COVID-19, 7 January 2021 to 9 January 2022



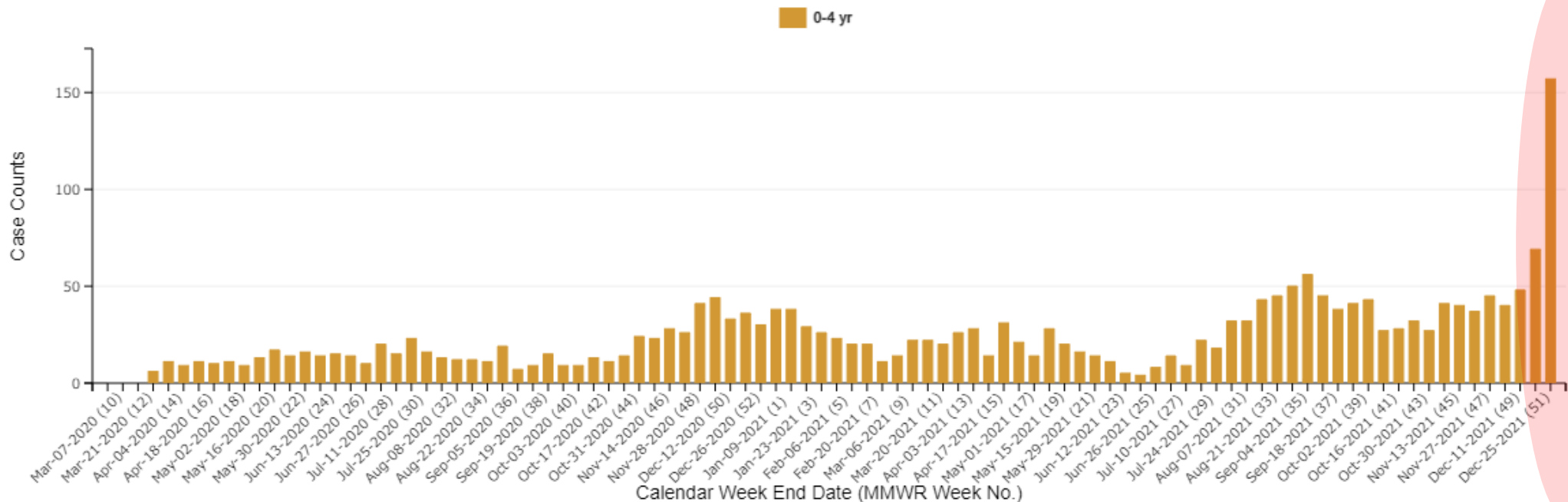
英国 UK HSA (Health Security Agency)からの報告です。これを受けて、英国のThe Royal College of Pediatrics and Child Health (RCPCH)は「オミクロン株が小児で特に重症化し易いと云う事ではない」との声明を発表しています。[RCPCH comments on reports of increased admissions of under 5s in hospital with COVID-19 | RCPCH](#)

SARS-CoV-2 variants of concern and variants under investigation in England Technical briefing 34  
14 January 2022

[SARS-CoV-2 variants of concern and variants under investigation- Technical briefing 34 \(publishing.service.gov.uk\)](https://www.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1014142/sars-cov-2-variants-of-concern-and-variants-under-investigation-technical-briefing-34.pdf)

### Laboratory-Confirmed COVID-19-Associated Hospitalizations

#### Covid-19-associated Hospitalizations By Age



#### Cumulative case count by age group

	0-4 yr	Total
2020-21	2295	2295

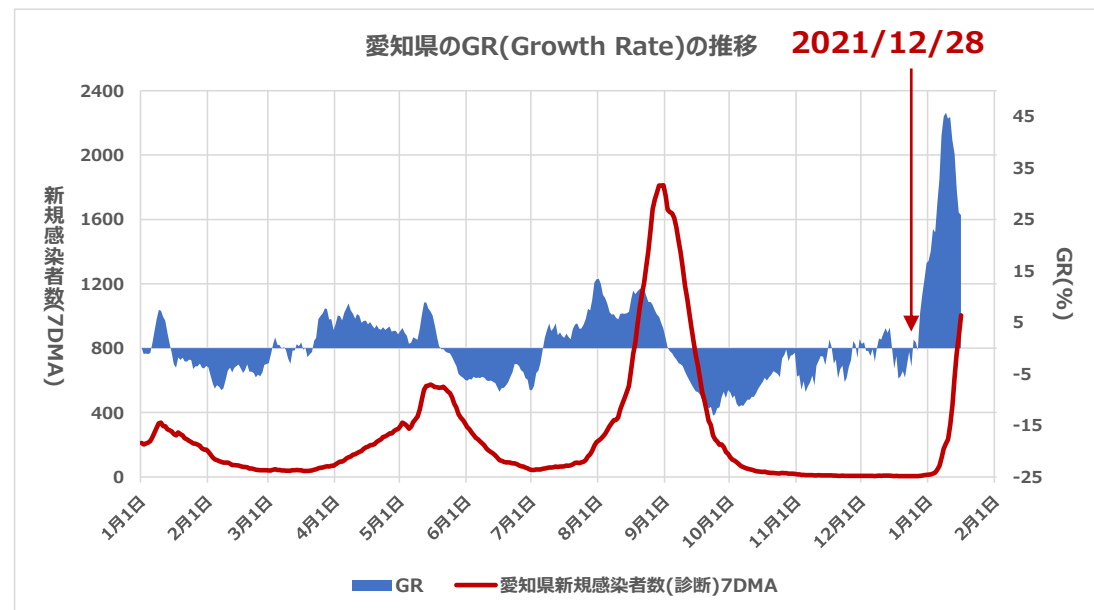
**米国CDCからの報告**

[COVID-19 Hospitalizations \(cdc.gov\)](https://www.cdc.gov)

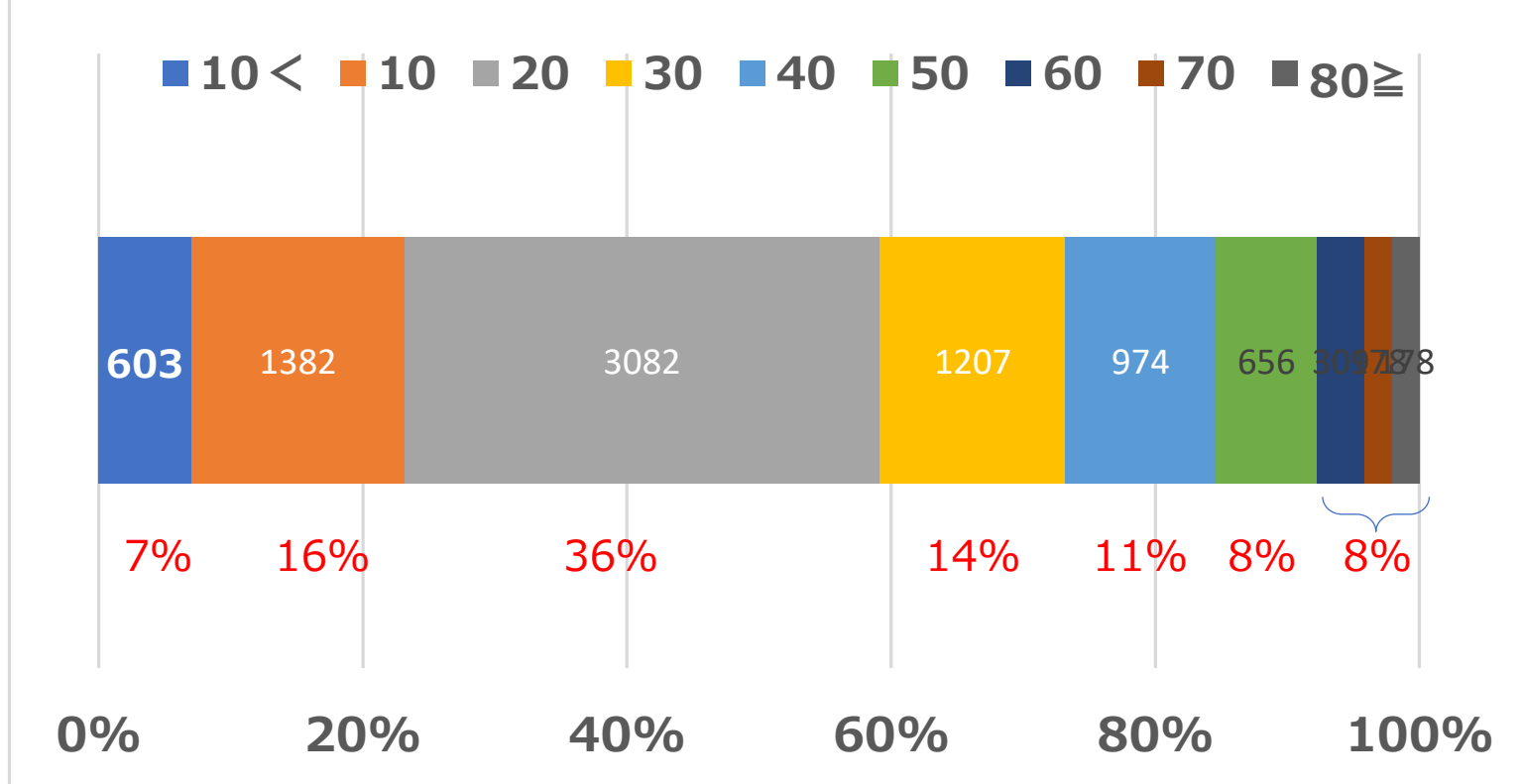
The Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)-Associated Hospitalization Surveillance Network (COVID-NET) hospitalization data are preliminary and subject to change as more data become available. In particular, case counts and rates for recent hospital admissions are subject to lag. Lag for COVID-NET case identification and reporting might increase around holidays or during periods of increased hospital utilization. As data are received each week, prior case counts and rates are updated accordingly.

# 愛知県での検討

(2021/12/28~2022/1/16)



## 愛知県の第6波(オミクロン株)の年齢階級分布

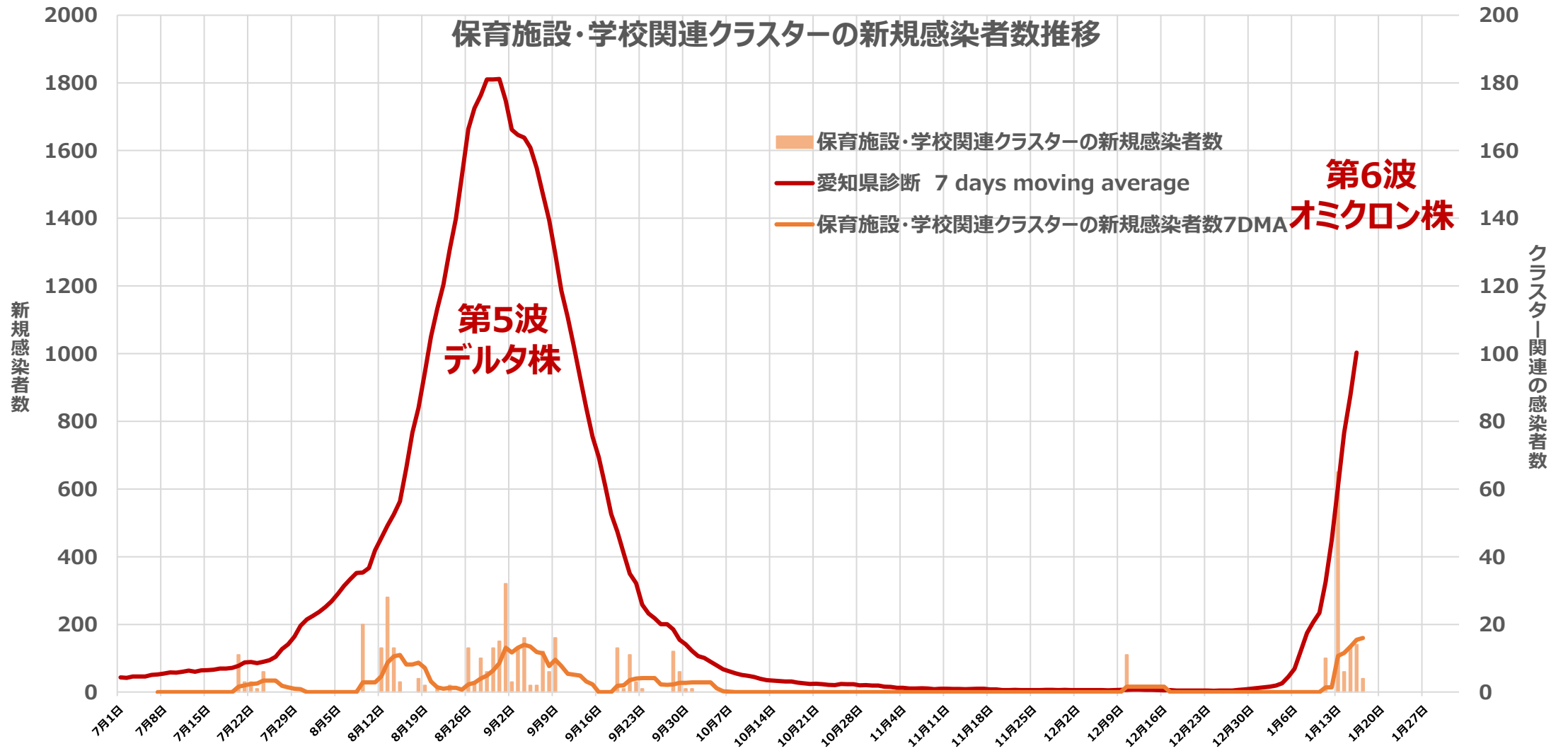


N=8,569

愛知県の第6波(オミクロン株)の2022/1/16時点までの年齢階級分布です。特に10歳未満が多いと云う訳ではありません。

尺度1/10

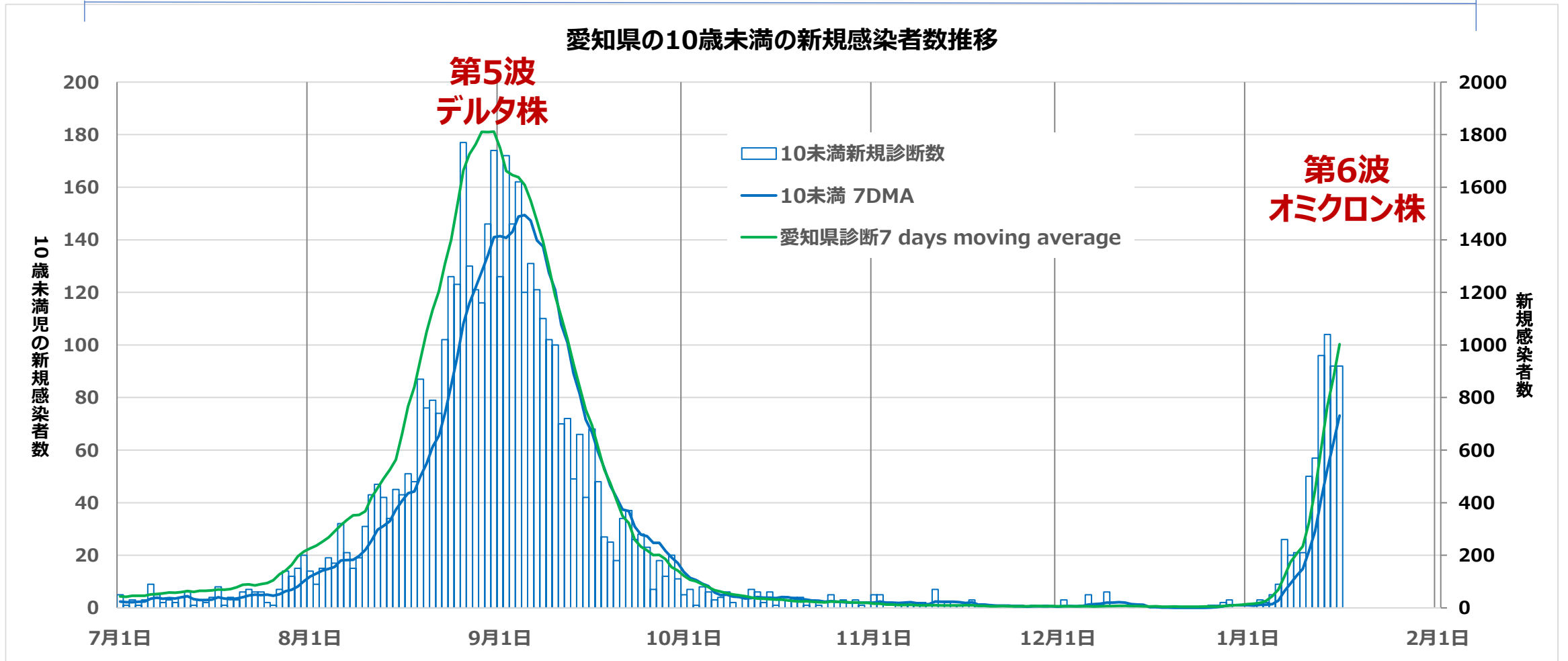
### 保育施設・学校関連クラスターの新規感染者数推移



確かに、第6波で既に保育施設・学校関連のクラスターが6件報告されています。しかし・・・

尺度×10

### 愛知県の10歳未満の新規感染者数推移



・・・第6波(オミクロン株)での10歳未満の全体と対比しての感染者増加の推移は、現時点では第5波と大きな相違はありません(なお、第6波のピーク値予測は全体で3,800人/日、10歳未満で320人/日)。



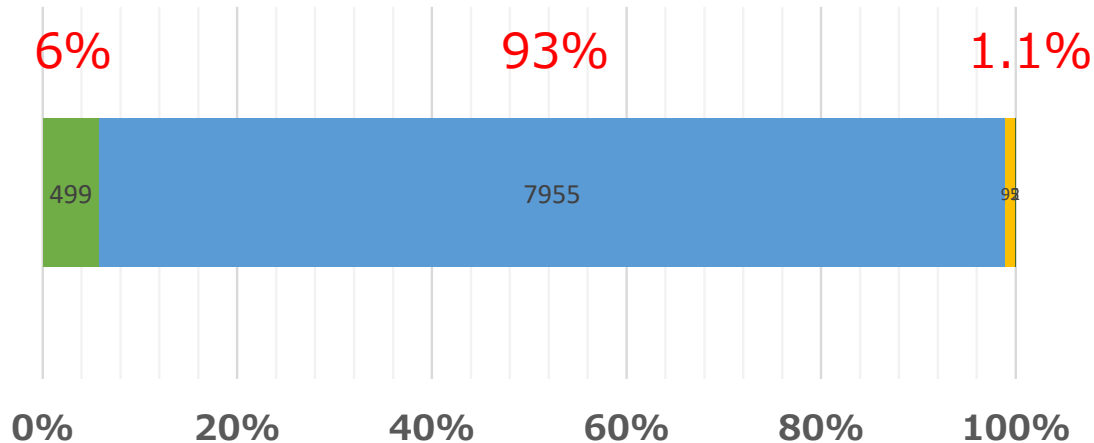
### 愛知県の第6波(オミクロン株)の病型

N = 8551

2021/12/28~  
2022/1/16  
調査中18例を除く

さて、病型についてですが、全体での愛知県の第6波(オミクロン株)の2022/1/16時点までの陽性判明時の病型をみると、圧倒的にオミクロン株感染では軽症化しています(無症候の割合は減少)。

■ 無症候 ■ 軽症 ■ 中等症 ■ 重症≥

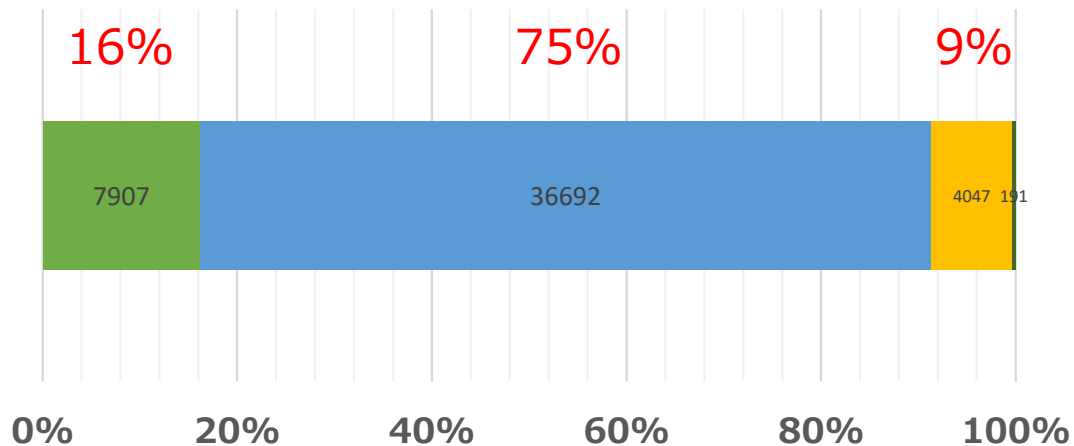


### 愛知県の第4波までの病型

N = 48837

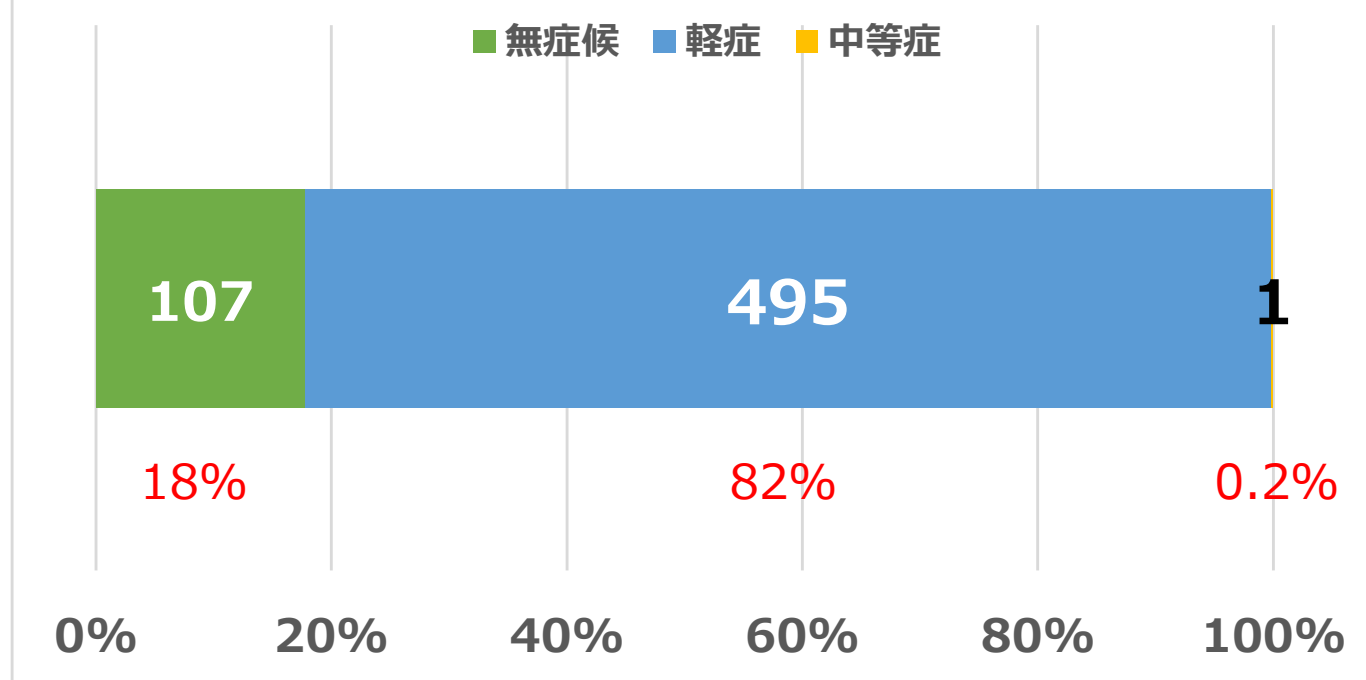
2020/1/26~  
2021/6/20  
第1波~第4波

■ 無症候 ■ 軽症 ■ 中等症 ■ 重症≥





## 10歳未満603例の病型



10歳未満の愛知県の第6波(オミクロン株)の2022/1/16時点までの陽性判明時の病型をみると、中等症は $1/603 \div 0.2\%$ です。

# PCR陽性判明時 病型→最終病型 (10歳未満)

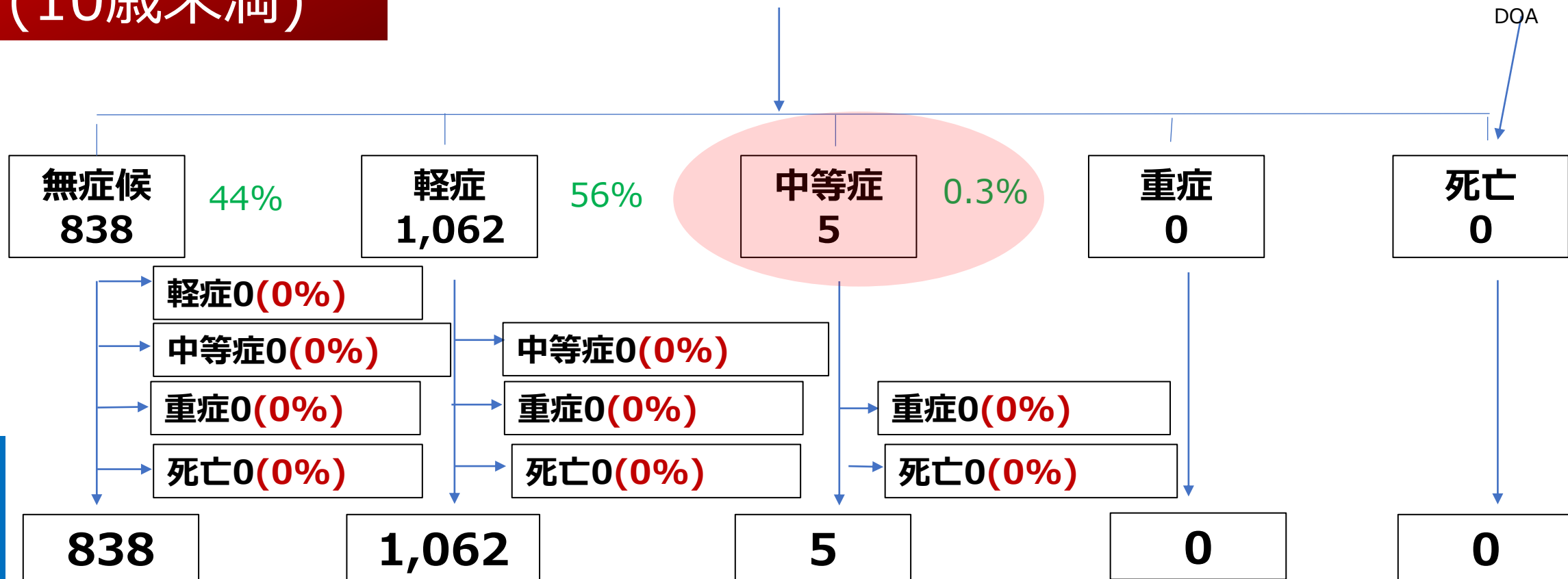
2020/1/26~  
2021/6/20  
第1波~第4波

検討対象  
1,905

検討感染者48,837中の3.9%  
愛知県の10未満が全年齢に占める比率は8.5%

陽性判明時病型

最終病型



コメント ; 10歳未満では無症候・軽症、中等症からの進展はない  
最終病型は無症候は44%、軽症は56%、中等症は0.3%と陽性判明時と不変

## まとめ

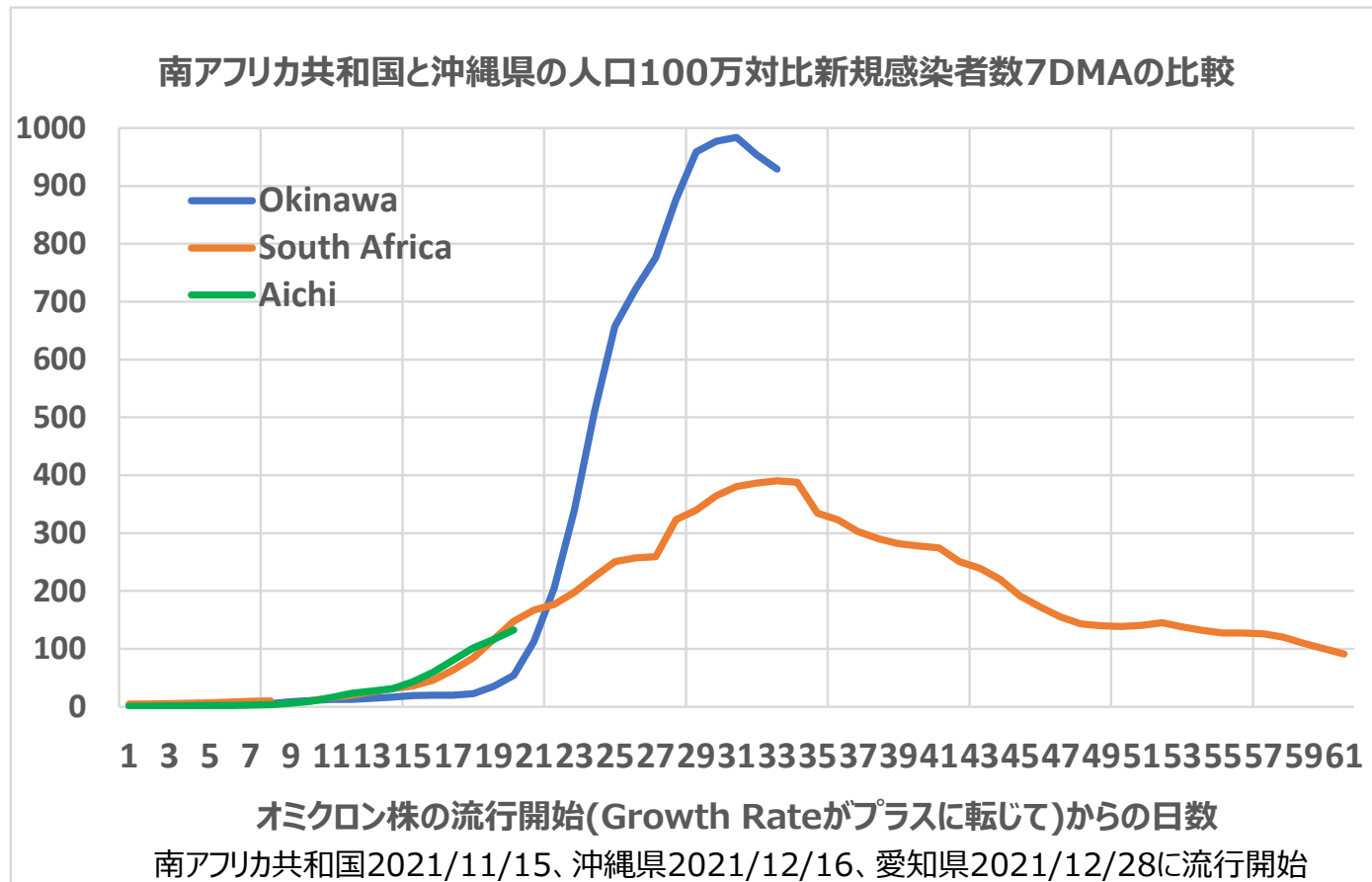
愛知県の2022/1/16時点での検討では、第6波オミクロン株感染で

①10歳未満児の感染例が、その人口構成比に対して突出して多い訳ではありません。

②陽性判明時の病型で、従来株に較べて10歳未満児の重症化の徴候は認めていません。

③英国、米国での乳幼児のOmicron Variant入院例の増加は、感染者の絶対数の増加に伴う結果とも解釈できますが、その急峻な増加の原因として「オミクロン株が従来株に較べて上気道感染主体の為に、乳幼児のRSウイルス感染に類した病型を呈しているのではないか」と云う推論もあり、今後の注視が必要とは考えます。

# 付録：2022/1/16時点



南アフリカ共和国のデータはOur World in Data、沖縄県のデータはNHK公表資料、愛知県のデータは愛知県公表資料に拠る